

「つくば Science Edge 2018」が、茨城県つくば市の「つくば国際会議場」で、2018年3月23日(金)・24日(土)と2日間にわたって開催されました。海外からの発表者12校84名をはじめ、見学者、協賛企業・大学、研究機関などを合わせ、**来場者数は延べ1,454名(2日間合計)**となりました。多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。

今回も、つくばサイエンスアカデミーの先生方、つくば国際会議場指定管理者JV各社の協力を得ながら盛大に開催することができ、**国内70校・海外12校、合計82校(全271チーム)**より参加いただきました。

オーラルプレゼンテーション8チーム、サテライトプレゼンテーション10チーム、英語ポスターセッション70チーム、日本語ポスターセッション189チームが、科学に関するアイデアを発表しました。



【国際交流会】(3月23日)

台湾、タイ、フィリピン、インドネシア、ミャンマー、香港と日本の中高生約110名が集い、国際交流会を開催。順天高等学校、広尾学園高等学校の生徒が国際交流会の立案と進行を行いゲームをしながら親交を深めました。開催にあたっては、PICO factory Japan様にご協力いただきました。



【サイエンスワークショップ】(3月24日)

「つくば Science Edge」の目玉でもあるサイエンスワークショップには、今年も企業、団体、大学等のご協力により、9つのワークショップ(各2回)が開催されました。今年は延べ864名が参加いたしました。



主催/つくば Science Edge 2018 実行委員会

共催/株式会社JTB関東、株式会社JTBコーポレートセールス、つくばコンgresセンター

後援/文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、茨城県、茨城県教育委員会、

つくば市、つくば市教育委員会、つくばサイエンス・アカデミー(敬称略・順不同)

協賛・協力/タンガルーマリンエジュケーションセンター&コンサベーションセンター、東京工業大学、東邦大学、東京農業大学、日本大学理工学部、河合塾、筑波大学、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、特定非営利活動法人日本サイエンスサービス(NSS) 茨城県立自然博物館、茨城県立歴史館、茨城県近代美術館、水戸芸術館、茨城県陶芸美術館、アクアワールド茨城県大洗水族館(敬称略・順不同)

◆オーラルプレゼンテーション／ポスターセッション／サテライトプレゼンテーション

【サイエンスアイデアコンテスト】

オーラルプレゼンテーション、ポスターセッションは、発表者の日頃の研究成果を国際的に活躍する科学者・研究者の前でプレゼンテーションできる「つくば Science Edge」ならではのプログラムです。

今回は海外1チームを含む8チームがオーラルプレゼンテーションに選抜され、多くの方々の前で、素晴らしいプレゼンテーションを披露いたしました。英語ポスターセッションは、例年以上に高いレベルで拮抗し、審査員特別賞を含む5チームが表彰されました。サテライトプレゼンテーションには、海外1チームを含む10チームに発表いただきました。



【受賞結果】(敬称略)

●オーラルプレゼンテーション

- ・創意指向賞 東京大学教育学部附属中等教育学校 / 岸野 紘大
「ニホンアマガエルの採餌行動における視覚刺激の効果」
- ・探究指向賞 学校法人 札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校 /
牧野 楓也, 佐藤 琉聖, 横山 貴紀, 宮本 悠史, 石黒 駿斗
「ネオジム磁石球を用いた銅パイプの抵抗率測定」
- ・未来指向賞 安田学園中学校高等学校 / 川口 拓真, 吉村 翼
「養蜂を都市でできる新しい農業にしていこうためには」
- ・審査委員特別賞 文京学院大学女子高等学校 / 高柳 茜
「丸にとらわれたお星さま!?! ～星型正n角形k点飛ばしにおける面積の一般化公式を導く～」

●英語ポスターセッション

- 第1位 Mahidol Wittayanusorn School /
Cholapat Varongchayakul, Ind Tungsatitchai, Chalida Haruehansapong
「Development of Chemical sensor for the direct detection of nitrate ions
in freshwater environments」
- 第2位 Rikkyo Ikebukuro Senior High School / Taisei Shimabukuro
「Improving the light intensity and light emission time
of Peroxyoxalate chemiluminescence - Year three」
- 第3位 Kakegawa-West High School
/ Suyama Ayuri, Matsushita Ryo, Takeyama Haruka, Ooishi Sayaka
「By Environmental DNA, How Can We Research Tanakia's Habitat?」
- 審査委員特別賞 Meikei High School / Nanami Harada
「Proposal to combine Chronotherapy and Autophagy for cancer treatment」
- 審査委員特別賞 Chiba Prefectural Funabashi High School / Futaba Sato
「Extensions of the Lucas numbers related to bracelet models」

●日本語ポスターセッション

- 第1位 山村学園 山村国際高等学校 生物部 / 新井 倭愛
「マウス腸内フローラから健康食品の機能性を探る」
- 第2位 神奈川県立弥栄高等学校 / 鹿倉 恵菜, 石井 那哉, 長坂 卓哉
「実用化に向けた宇宙エレベーター簡易実験機の開発及び自律制御」
- 第3位 愛媛県立今治西高等学校 / 池内 明香, 佐伯 悠, 岡田 愛生
「オニクマムシの乾眠からの蘇生条件」

詳細な報告書(印刷物)の配布、およびホームページへの掲載は、6月頃を予定しています。オーラルプレゼンテーション、サテライトプレゼンテーション、ワークショップの詳細については、ぜひそちらをご参照ください。

次回は 2019年3月22日(金)～23日(土) に開催します!